

子供たちの糧となる多様な教材

一人一人の子供たちの前には、可能性に満ちた世界が広がっています。いっぽうで、容易には答えの出ないさまざまな課題にも向き合っていく必要があります。そのとき、どう考え、判断し、行動していくのか。

光村の道徳は、子供たちの実り豊かな人生を願って、今考えておきたいテーマ、心を揺さぶる物語、そして定番の道徳教材をバランスよく選びました。

命の尊さ



情報と
向き合う



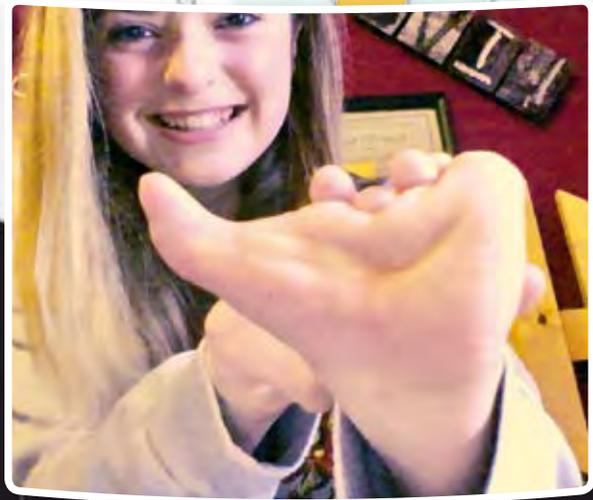
いじめを
許さない心



持続可能な
社会のために



共に生きる



教材の工夫

- 「現代的な課題」と向き合う
- 心に響く多様な教材
- 地域と共に生きる

- ↓ 20ページ
- ↓ 24ページ
- ↓ 26ページ

三年間の見通しをもった構成

日々成長していく子供たち。そのときに考えておきたいこと、学んでおきたいことがあります。時機を逃さず教材と出会うことで、子供たちの学びへの意欲と効果がよりいっそう高まります。

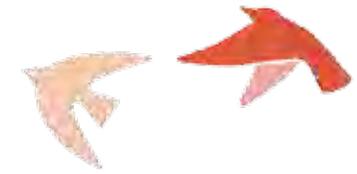
光村の道徳は、中学校の一年間、さらには三年間を見通して、子供たちの成長の過程、日々の学校生活、教材と教材との関連性など、さまざまな面から組み立てを考えました。



構成や教材配列の工夫

- 三年間を見通した全体構成
- 道徳の「授業開き」と「振り返り」
- 学びを確かなものに！「深めたいむ」

- 10ページ
- 12ページ
- 18ページ



時に自ら問いを発見し、時に協働しながら多角的に物事を考える。そして、自分の考えの変化や深まりを実感する。
光村の道徳には、そんな授業を約束する、コンパクトで構造化された「てびき」や、学習活動があります。

「てびき」や学習活動の工夫

- 教材と「てびき」の工夫
- 生徒の実感を引き出す体験的な学習

15 ページ
22 ページ

考えよう

法やきまりを守る心の源とは、何だろう。



- 画集を見て「描ける。これならきっと。」と思ったとき、理沙は、どんな絵が描けると思ったのだろう。
- 夢中で鉛筆を走らせながら、理沙は、何を考えているだろう。

見方を変えて

- 理沙の父は、理沙に、どんなことを伝えたかったのだろう。

つなげよう

- 自分や相手の権利を守るとは、どういうことだろう。また、果たさなければならない義務とは、どんなものだろう。

考えよう

真理を探究する心について、考えよう。



- 筆者が、「人工知能」を研究するのは、どうしてだろう。
- 「知的好奇心」や「知的欲求」とは、どんな心だろう。

見方を変えて

- 「人間とは何か」「心とは何か」について話し合い、自分の知的好奇心と向き合ってみよう。

考えよう

社会で他者と共に生きていくためには、どんなことが大切なのだろう。



- 筆者は、ソーシャル・ビューのどんなところに、おもしろさを感じたのだろう。
- 一人一人の違いが生きる社会には、どんなよさがあるだろう。

つなげよう

- 今日の学びを、美術科での学びに生かしてみよう。
- 筆者の伊藤亜紗さんの考え方をヒントにして描かれた絵本を、紹介します。



みえるとか
みえないとか

